

2021年2月5日
商 工 中 金

東北大学の研究シーズを事業化する 株式会社Piezo Studio様を金融面からサポート

商工中金は、事業性の判断が難しく、収益化に時間を要する分野に取り組む中小企業の皆さまを、関係機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（仙台支店）は、株式会社Piezo Studio様（本社：宮城県仙台市、代表者：木村 悟利様）に対し、電子機器の作動に欠かせない新型タイミングデバイスの研究開発に必要な資金2,000万円を融資しました。

同社は、東北大学が持つ研究シーズを事業化する企業です。スマートフォン等に使われているタイミングデバイスなどの研究開発・製造をしています。

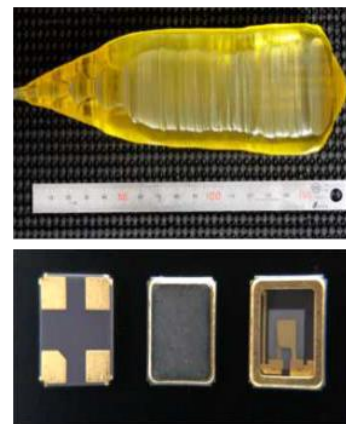
同社が開発した「タイミングデバイス」は、電子機器が正常に作動するために必要不可欠なデバイスで、東北大学と共同開発した「新規ランガサイト型圧電単結晶」を用いることで、従来製品に比べ、省電力化と高速起動化を実現させています。そのため、電池寿命が5倍程度伸びる可能性があるなど、IoT機器への応用を図ることで、スマートフォンや小型ヘルスケア用品等、様々な分野での活用が見込まれています。

商工中金は、同社の主力販売先である大手企業や技術分野に対して高い専門知識と見識を持つ外部専門家等への入念なヒアリングを行い、綿密な事業性評価を実施。同社製品の活用範囲や技術の有用性を確認。電子機器の機能向上に加え、省電力化等を通じて環境問題にも貢献すると考え、研究開発等に必要な資金を融資しました。

商工中金は、ロボットやバイオなどフロンティア分野に挑戦する中小企業の皆さまの支援を通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【株式会社Piezo Studio様の概要】

所在地	宮城県仙台市青葉区一番町1-4-1
代表者	木村 悟利様
資本金	2億7,464万円
設立	2014年12月
業種	タイミングデバイスの開発・製造



【写真上：新規ランガサイト型結晶、
写真下：新規開発したタイミングデバイス】